

今の御前崎市の学校は

はじめに

- 御前崎市の学校は、御前崎市教育大綱の理念を受けて、「主体性」をキーワードに様々なことにチャレンジしている。

学校のグランドデザイン

- それぞれの学校に「グランドデザイン」という今年の目標をまとめた計画がある。
- 「主体性」や「自分から行動する力」が大切にされている。
- 各学校のホームページで見ることができる。

各校の様子から

- 子どもたちは、笑顔でいろいろなことにチャレンジしている。
- 小中学校の授業の様子
 - ・ 先生の話のずっと聞く講義型の授業は少なくなっている。
 - ・ 子どもたちは自分で考えたり、友だちと協力したりして学んでいる。
 - ・ 第一小学校では、6年生全員で一緒に同じ算数の授業を受ける取組をした。クラスの枠を超えた授業でみんなのやる気と絆が高まっている。
 - ・ 音楽の授業では、仲間と協力するだけでなく、自分の課題を見つけて一人で練習する子もいた。
 - ・ 学習者用端末(クロームブック)を使って、自分のペースで学ぶことも普通になっている。
 - ・ 小学校と中学校の先生と一緒に研修したり、同じ大学教授を招いた研修を各校で行ったりして、授業の目標を共有することで、中学校でも戸惑うことなく生活できるようになっている。
- 小中学校の様々な活動の様子
 - ・ 浜岡中学校では、上級生が1年生に、小学校とは違う範囲の広いテストに対する効果的な勉強の進め方を教えてあげる活動がある。良い点数を取るだけでなく、自分に合う勉強方法を見つけることも大切だと伝える上級生もいて、上級生自身も自分の学びを振り返る良い機会になっている。
 - ・ 小学校では、1年生から6年生までが一緒に活動する縦割り活動がある。上の学年は重要な活躍の場を得て、下の学年の子にとっては安心できる環境になっている。
 - ・ 6年生が全校児童に向かい、みんなで「楽しい学校づくり」宣言をするなど、イベントを子どもたちが企画・運営する場面が増えている。こうした取り組みは市内他の学校でも行われている。

- 先生の学習端末活用
 - ・ 先生たちもクロームブックを活用して授業をおこなっている。
 - ・ ベテランの先生が、過去の授業案を使って、ゲーム感覚で取り組める楽しい資料を作っていた。
 - ・ 子どもたちはミッションをクリアしようと夢中になって学習に取り組んでいた。
 - ・ このような努力が他の先生の刺激にもなっている。

園での経験と学びが土台

- 園でも子どもたちの学びを支える工夫がされている。
- 例:「流れる水のはたらき」の学習につながる
 - ・ 砂場や園庭で泥遊びをしているだけに見えても、子どもが工夫するための道具がそっと置かれている。
 - ・ このように緻密な環境設定がされている御前崎市の園は全国でもトップクラスであると、専門家からも高く評価されている。
 - ・ こうした遊びが、小学校の理科の学習にもつながっている。
 - ・ 園と小学校の先生は、研修を通じて情報交換が可能であり、子どもたちの学びが途切れないようにすることができる。
- 例:身近な草花に興味を持つ環境
 - ・ 園舎で園庭にある草花のディスプレイや図鑑の設置をすることで、子どもたちの興味を引いている。
 - ・ 子どもたちの知的好奇心をくすぐり、自ら調べたり、熱心に説明したりしている。

今年度の新たな取り組み

- サキドリ研究校(浜岡東小学校)
 - ・ 授業時数を短縮してできた余った時間に新しい活動をしている。
 - ・ チャレンジタイムや探究活動を保護者や地域と協力して行っている。
- NIE 研究校(御前崎中学校)
 - ・ 新聞の読み方を学び、上級生が下級生に伝える時間を作っている。
 - ・ 研究の成果を学校の新しい文化にしている。
- 子どもたちと考える未来の学校(浜岡中学校)
 - ・ 先生と生徒が授業の目標について話し合う会がある。
 - ・ 生徒から「単元で身につけるべきものは何か」などの質問も飛び出し、先生たちも驚いている。
- 他市や他県からの視察

- ・ 御前崎市の学校の改革が他の地域からも注目されている。
 - ・ 鹿児島県内のとある教育委員会から職員研修に参加したいと希望された例もある。
- 自由に持ち帰れる学習プリントやテストの過去問題
- ・ みんなが自由に持ち帰れるプリントが置いてある。
 - ・ 宿題は減ったが、自分に合った学習ができるよう先生たちが工夫している。
 - ・ 子どもたちからプリントのリクエストも増えている。
 - ・ 過去のテスト問題も自由に持ち帰れて、勉強の参考になっている。

結びに

- 教職員は子どもたちの可能性を信じて支えている。
- 子どもたちが自分でがんばろうとする力が育っている。
- 保護者や地域のこれまでの協力が、いま大きな成果となってきている。
- より詳しく知りたい場合は各学校のホームページを見てほしい。

補足として

- ◆ 前提として、基礎学力定着のための授業時間はもちろんある。